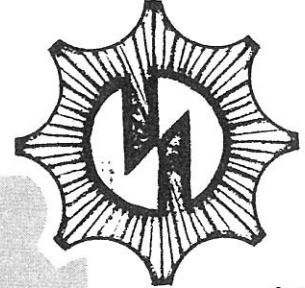


# 稲城市体協

発行 稲城市体育協会

電話 0423(78)2111

内線 (277)



## 新春 駅伝・マラソン大会開かれる

### スポーツの出会いにみんなで参加

“ 走れ・走れ・走れ ”

明日の世代をにう子どもから今日の社会を支える青壮年、古き時代を現在の歴史につなぐ老人まで、日本列島は最近、マラソンブームの最高調にあります。特に、冬のシーズン初春には、各地から大小を問わず、たくさんの方々が、毎日の新聞紙上をにぎわします。

一月十六日は、天候曇、寒さ体のしんまでこうりつきそう。

稲城市でも、教育委員会、体育協会共催により、新春を飾る市民総参加、駅伝マラソン大会が、澄みきった空気の中、多摩川のほとり、矢ノ口競技場から堤防を走り折り返す、コースで開催されました。

昔からの変らぬ多摩川の流れ、一時の汚れから、すっかりよみ返ったきれいな水面、帰ってきた魚、水鳥のたわむれ、詩になるような自然の中で繰り広げられた、此の

大会に、市内各地域から、大

ゼッケンを胸にした子どもたち

働く会社の社名を背負った、

青年のチーム、体力の限界に

の挑戦し、健康と走る喜びを、

一ぱいの年配者、文字通りのマ

もからおとしよりまで、地域社

を結ぶ、スポーツに、走る事

心を寄せる全ての世代の、一

の市民の方々が、スポーツの出

い、コミュニティの場に参集

走る者、応援の者、見る者、

となつて、誠に盛大に大会総

飾り終る事が出来ました。

新春駅伝マラソン大会で、

明けた五十二年の体協行事、

のスポーツ出会いの広場は、

スポーツ大会、秋の体育大会と

限りなく続いていきます。市

体育、市民がこよなく愛す、

稲城をスポーツの町に、皆ん

をとり一つの輪、明日に向つ

“ 走る 走る 走る ”

# 第五回スポーツ大会日程決まる

主催 稲城市体育協会

種 目	期 日	会 場	時 間
開 会 式	3/13	市営矢ノ口陸上競技場	9.00~
サ ッ カ ー	成年の部 少年の部 毎日曜	3/13~4/24 毎日曜	矢ノ口サッカー場 9.00~17.00
軟 式 野 球	一般の部 少年の部 毎日曜・祭日	3/13~4/17 毎日曜・祭日	矢ノ口野球場 百村スポーツ広場 市営大丸野球場 9.00~17.00
バレーボール	一般女子 ジュニア 家庭婦人 一般男子	3/17 3/27 3/27 4/3	市立4小体育館 2中 〃 2小 〃 稲中 〃 11.00~17.00 9.30~17.00 9.30~17.00 9.30~17.00
バドミントン	一般男子(S)(W) 一般女子(S)	4/10	稲中体育館 9.00~16.00
軟 式 庭 球	一般男子AB級 一般女子AB級 中学生の部	4/24 4/23 予定	大丸テニスコート 9.00~17.00
空 手 道	一般の部 中学生の部 小学生の部	3/13	1小体育館 11.00~17.00
射 撃	トラップ スキート	3/21	八王子射撃場 9.00~16.30
卓 球	一般男子(S)(W) 一般女子(S) 壮年男子(S) 家庭婦人(S)	4/17	3小体育館 10.00~17.00
剣 道	一般の部 中学生の部 小学生の部	3/13	3小体育館 10.30~17.00
硬 式 庭 球	一般男子(S) 一般男子(W)AB級 一般女子(S)(W)	4/10 4/3 4/10	北緑地テニスコート 9.00~17.00

注. (S) シングルス、(W) ダブルス を表わす。

### 稲城支部

### 表彰うける

稲城市野球連盟は、昭和四十三年に市体育協会発足と同時に協議に加盟し、九年を迎えます。

その間、市の発展とともに連盟加入チームも増加し、現在では、一般五十チーム、少年九チームと多くを数える団体に成長致しました。

昭和四十九年に、当連盟の上部国体である東京都軟式野球連盟に単独加盟（これ迄は、当時の稲城町、多摩町の二町で南多摩支部として加盟）を許され、その下部組織として活動して参りました。

各種の東連大会に、稲城支部代表として数多くチームを派遣しました。その中でも、稲城市役所チームは、目覚ましい活躍をし、初年度の選抜大会第三部に於て並居る強豪を退けて見事優勝を成し遂げ一躍稲城支部の名声を高めました。

続いて昭和五十一年の選抜大会第二部では準優勝と着実に実績をあげ、新生稲城の健在を一番強いものにししました。

さて、東京都軟式野球連盟は、昭和二十一年、戦後の復興の足音とともに発足し、すさんだ都民の心に一灯をさしかけ、力強い第一



歩を印しました。以来三十年絶ゆるまざる努力により現在では東京都三十九支部、二千三百余チームの登録があり、益々隆盛の一途をたどっております。

昨年十二月八日、創立三十周年記念式典が自由民主会館で催され当連盟も日頃の活動を認められて志村寛理事長他二名の個人表彰を受け、又稲城市役所チームが優秀チームの表彰を受けました。

東京都軟式野球連盟に加盟をして、このような名誉ある表彰を受けましたのも、日頃皆様の暖かい御声援の賜と心より感謝致します。今後とも連盟の発展に一層の御支援をお願い致します。

### 第四回 三多摩クラブ

### サッカー選手権大会、稲城市で開かれる

第四回三多摩クラブサッカー選手権大会が、稲城市サッカー連盟の主管と、稲城市教育委員会、稲城市体育協会、読売新聞社の後援のもとに、二月十三日（日）より三月六日（日）まで毎日曜日、市営サッカーグラウンド始め、四会場で開催されます。

此の大会は、三多摩各市の協会（連盟）の運営及び競技レベルの向上と連帯をはかり、相互の親睦と、サッカーを志す選手の精進を期待する、という主旨で開催されるものです。

出場資格は、各市年度の大会で優勝した単独チームの参加が認められ、混成選抜でない所に見どころがあり、三多摩サッカーのチャンピオンを決定する大会と言っても、過言ではないと思えます。

参加各市及びチーム名は別記の通りですが、強豪十六チームの中に稲城市代表として、坂浜サッカークラブが参加し、開会式に堂々と入場行進を行い、キャプテンの榎本喜一君が選手宣誓をして大会を盛り上げて居ります。

市民の皆様が力強い御声援をお願いします。

### 第4回

### 三多摩クラブサッカー選手権大会出場チーム一覧表（順不同）

市(町)名	代表チーム名	代表者氏名
立川市	蹴球団	夫郎一司
小平市	川クラブ	江田一
小金井市	大イレクラブ	保田一
小金井市	分寺クラブ	久岡一
昭島市	日本航空電子工業	高橋一
瑞穂市	瑞穂サッカークラブ	栗原一
武蔵野市	村山多摩高校OB	比留間一
八王子市	久米川フットボールクラブ	加木一
東調布市	調布グリーンキッカーズ	山根一
青梅市	青梅FC	伊藤一
多摩市	多摩サッカークラブ	榎本一
稲城町	白頭	劉石

(会長 松浦里行記)

大会史上最高、3423名が参加  
第8回 稲城市民体育大会 閉幕



市制5周年記念

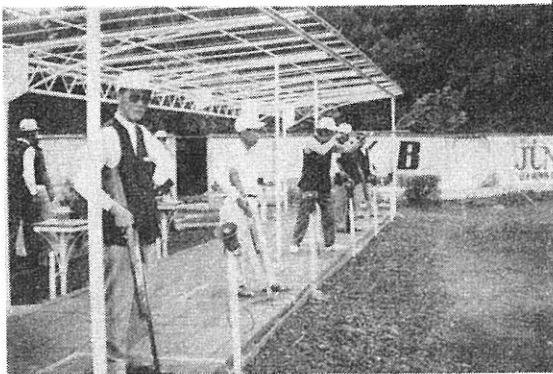


市民スポーツの祭典である、第八回稲城市民体育大会(市制五周年記念)は、「親子や地域で参加しよう」を相言葉に、九月十二日(日)より三四二三名の大会史上最多数の参加者により、レクリエーション及び競技種目合せて十二競技、十四種目が、市内各会場に於きまして、熱戦をくりひろげられた末、十一月二十一日軟式野球決勝戦を最後に、全種目の競技が終了しました。  
各種目別の結果は、次の通りであります。

種 目	優 勝	準 優 勝	第 3 位
バレーボール 一般男子	コカ・コーラ A	富 士 通 A	I. F. V. C.
バレーボール 一般女子	稲 城 市 役 所	富 士 通 南 多 摩	富 士 通 機 電
バレーボール 家庭婦人	ひ ま わ り	稲 城 み ど り	稲 城 ク ラ ブ
バレーボール 混 合	オ ー ル グ リ ー ン	ひ ら お	オ ー ル 富 士 通 稲 中 グ ル ー プ
軟 式 野 球	富 士 通 南 多 摩	グ リ ー ン ズ	田 中 精 機 ・ 電 設 機 器
サ ッ カ ー	坂 浜 ク ラ ブ	稲 城 ク ラ ブ	富 士 通 南 多 摩
卓 球 一 般 男 子	長 谷 川 次 彦	佐 々 木 政 美	江 原 恭 二
卓 球 一 般 女 子	本 間 順 子	小 宮 き み 子	
卓 球 壮 年	大 島 勝 博	橋 本 達 雄	鈴 木 正 彦
卓 球 家 庭 婦 人	飯 島 有 子	田 口 妙 子	小 沢 敏 代
卓 球 男 子 ダ ブ ル ス	長 谷 川 ・ 鈴 木 組	佐 々 木 ・ 佐 藤 組	本 間 ・ 橋 本 組
軟 式 庭 球 男 子 A	倉 本 ・ 石 田 組	門 真 ・ 小 机 組	小 野 ・ 吉 田 組
軟 式 庭 球 男 子 B	佐 藤 ・ 田 中 組	永 松 ・ 小 山 組	原 島 ・ 加 藤 組
軟 式 庭 球 女 子 A	林 ・ 三 浦 組	伊 藤 ・ 古 角 組	佐 藤 ・ 松 岡 組
軟 式 庭 球 女 子 B	武 川 ・ 石 橋 組	山 崎 ・ 奥 原 組	筒 井 ・ 井 西 組
剣 道 一 般	大 島 修	高 梨 勝 彦	清 水 時 孝 ・ 一 口 哲 郎
バ ド ミ ン ト ン 男 子 シ ン グ ル ス	斉 藤 博	取 違 憲 明	白 土 雅 邦
バ ド ミ ン ト ン 壮 年 シ ン グ ル ス	沢 山 正 夫	向 後 陟	岡 部 芳 雄
バ ド ミ ン ト ン 男 子 ダ ブ ル ス	斉 藤 ・ 沢 山 組	中 島 ・ 佐 藤 組	白 土 ・ 取 違 組
バ ド ミ ン ト ン 女 子 シ ン グ ル ス	深 谷 矩 子	高 橋 福 子	浜 田 久 子
空 手 道 一 般 型	渡 辺 正 人	神 田 寛 二	沢 千 登 士
空 手 道 一 般 組 手	大 西 浩	田 中 貞 明	沢 千 登 士
射 撃 ス キ ー ト	福 田 勝 次	吉 野 紘 司	吉 野 三 郎

# 第四回大会 熱戦風景

## 市民体育大会スナツプ



射撃の部



サッカーの部



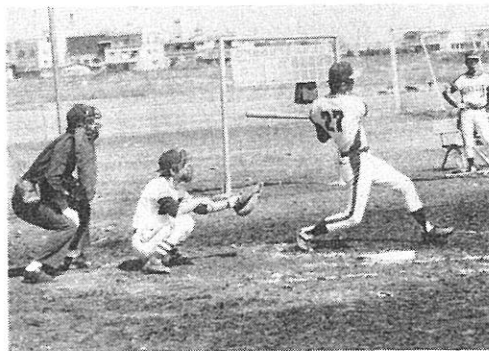
バドミントンの部



バレーボールの部



空手の部



軟式野球の部

### 稲城市に陸上 連盟をつくらう

稲城市体育協会の中には各種の競技連盟があり、多数の市民の参加により活発な活動が行われ年々発展充実しておりますが、残念なことに陸上競技連盟の発足をみるに至っておりません。

過去の稲城は、陸上競技が盛んであり、現市長さんをはじめ体協会長、副会長、理事長さんなど体協幹部の方々の中には数多くの好成績を収められた実績があると聞いています。

ご承知のとおり陸上競技は歩くことには始まり、走る、跳ぶこと、投げるなどの運動であり、老若男女を問わずしかも各年層にわたって誰でもまた一人でも楽しめます。健康保守増進やスポーツの技能向上にも役立つ基本的な運動でもあります。

また、陸上競技はつらくて面白いものがないという印象をお持ちの方が多くありますが自分の体力に合った方法で行えばとても楽しいものです。記録と自分との競争ができるし心身を鍛えるには最適な運動です。

市体協は、今年度「組織の充実

をはかる」ということを目標としています。この機会に陸上愛好者（初心者大歓迎）の皆さんで陸上競技連盟をつくらうありませんか。

#### ※主旨

- ①稲城市陸上競技連盟を創設
- ②市民の体位の向上をはかり、陸上競技者の育成を行う。
- ③指導理論、技術の習得。
- ④公認審判員資格取得及び審判の習得。

#### ※対象者

稲城市在住、在勤者（年令不問）

但し①競技を主とする者

- ②指導及び公認審判員取得を希望する者にされる

陸上競技愛好者ならびに、にご賛同され登録ご希望の方、電話で結構ですので市役所社会課社会体育係までお申込み。七八二二二一 内二二

#### 発起人

- 石黒 実 大河原克
- 高橋大助 高橋忠
- 木村和子 横山孝

昭和五十一年度

稲城市体育協会賛助会員名簿

今後とも本会への倍増のご支援をお願い申し上げます。

個人会員 (順不同・敬称略)

- 青木信勝
- 石崎実昭
- 五島喜一
- 城所克次
- 原島光治
- 西山光三
- 情野三郎
- 高橋直三
- 嘉山直三
- 原島信治
- 原田信忠
- 城所紘太郎
- 原田嘉茂
- 多田野作造
- 榎本茂樹
- 石井洋平
- 石井正志
- 浅水圭司
- 松本圭治
- 牧藤治巳
- 遠藤市蔵
- 松浦肇紘
- 藤田吉蔵
- 高田良二
- 今井正夫
- 吉野三郎
- 野村清通
- 石井金治
- 鈴木木金
- 加藤栄一
- 石川商一
- 青木昭治
- 城所硝子店
- 原田実
- 小澤吉伸
- 嘉山三郎
- 高橋新一郎
- 新川一寿
- 小俣武勝
- 本橋作夫
- 小沢文男
- 小川良一
- 大河原良一
- 進藤孝雄

法人会員 (順不同・敬称略)

- 割烹 梨花
- 同栄信用金庫稲城支店
- 石田屋金物店
- 加藤精米店
- 平工業務店
- かごや商店
- 進藤建材店
- 石田建設
- 協和産業
- 平和相互銀行平尾支店
- 白井石油
- 原島光雄商店
- 振興信用組合稲城支店
- 川邊農研産業
- 弘和電機
- 石井製油
- 加茂工業
- 大多摩金属工業
- 東京コカ・コーラボトリング
- 稲城工場
- 富士通機電
- 相模精工
- よみうりランド
- 三平製作所
- 芝浦化工機製作所
- 富士銀行稲城中央支店
- 東京ユニット
- 平尾団地商店会
- 末広土地
- 山本運送
- 稲城市農業協同組合
- 小沢建材店
- 本吉電機製作所
- 葉山亭
- 坂浜幼稚園
- 北村鍍金工業所
- 大谷商店
- 富久屋
- ベック
- タカハシスポーツ
- アキバ徽章
- 吉野商會
- 吉野タイヤ商會
- 芦川商會
- 芝浦打抜
- 中塚工務
- 篠崎生コンクリー
- 佐伯製作
- 多摩高圧工
- 田中精機製作

あとがき

「体協だより」第三号をお届けいたします。  
 寒い寒いと言っているうちに、は、そっとしのび足で近付いて、す。冬の間静かに眠っていた万物の、春の雄呼びは、市民スポーツの、春の雄呼びは、市民スポーツ祭典、稲城市スポーツ大会の幕開けが始まります。

今号では此の第五回大会のプログラム、初春の駅伝マラソン大会、秋の第八回市民体育大会、等を中心に、体協加盟の各連盟の活動状況、市民スポーツの顔を、目で見ていただく様写真を多く取り入れ編集いたしました。

今後ともあたたかい御指導をお願い申し上げます。  
 編集委員長 白井本  
 委員 松浦里  
 須藤正  
 石黒博  
 顧問 石黒博